

# かみ

議会だより

6月定例会  
第30号

— CONTENTS —

- **国保税率を決定** 2
- 災害復旧など補正予算 4
- 住民の声 届くか (14人が一般質問) 8~14
- この人 ここにあり 16

(青葉保育園プール開き)

早く入りたいな

# 国保税率等を決定

医療分は減額 後期高齢者支援金分・介護分は増額

平成24年度6月定例会は6月6日から22日までの会期で行われました。主な質疑、討論等は次のとおりです。  
 国民健康保険税では、医療給付費は前年比で3千800万円程度の減を見込み、国保財政調整基金から8千700万円繰り入れを行うとしています。国保条例改正では、所得額、固定資産税額の確定などを受け、負担割合、限度額などを据え置きとする中で、税率、額を決定しました。

## 国民健康保険税条例

質疑

問 国保世帯の所得額の推移も示してもらっている。5年で20%以上も減少しているが、国保運営協議会では、どう議論したのか  
 答 国保運営協議会では所得割の課税標準額を示し、所得が下がりつつあるとの説明はしました。  
 問 減税については、基金の繰り入れなどでやれなかったのか  
 答 1億1千万円の繰り入れで、23年度と同程度

全員賛成で可決

になると見込まれますが、財源との関係で支援金分・介護分は増となりました。

## 企業立地促進条例

### 35歳未満の雇用年齢制限を削除

質疑

問 現在の実情はどうなっているのか  
 答 町への転入は30〜59歳が130人の実績です。4月の求人130人、求職者は240人で44歳までが100人、45歳以上が130人となっている  
 問 企業立地の考え方はどうか。問い合わせ等はあるのか  
 答 企業立地の問い合わせはありませぬ。他市町との対比で要望もあり、

全員賛成で可決

年齢制限をなくすものです。新たに、5千万円以上の投資、3人以上の雇用を条件としています。更に有効な策に向け検討します。

税率算定における平均国保税額の比較表

一世帯当たり平均

区分	現行	改正案	比較増減
医療分+支援金分	147,446円	146,176円	△1,270円(△0.9%)
介護分	33,291円	36,706円	3,415円(10.3%)

国保加入世帯の所得額の推移【医療分・支援金分】

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
課税標準額	3,410,530千円	3,172,582千円	2,797,881千円	2,595,202千円	2,466,698千円
世帯数	3,250世帯	3,212世帯	3,109世帯	3,058世帯	2,982世帯
世帯平均	1,049千円	988千円	900千円	849千円	827千円

注) 課税標準額とは、所得から基礎控除額を控除した額です。



# 周産期医療センター整備に負担金

中心都市宣言を行った豊岡市と協定を結び、その内容にある事業に対する町の応分の負担について国の特別交付税で財政支援を受けることを可能にするという協定締結を承認しました。

## 質疑

**問** 協定締結への留意事項とされている住民への説明、合意形成は

**答** 住民への直接説明は不足しています。町の後期基本計画策定委員会、地域協議会、議会全員協議会では説明しました。

**問** 公立豊岡病院の事業として周産期医療センターを整備・運営する費

**用** 用に応分の負担をする町の意味は

**答** 但馬内市町が共同して周産期医療への対応施設を整備しようとするものです。協定締結によって、国交付金事業となり市町の負担にも特別交付税の財政支援が受けられます。



周産期医療センター予定地(公立豊岡病院)

**問** 中心市への人の流れをつくることで、町からの人の流出を促進するのでは

**答** 大都市への流出を抑制します。但馬内での社会資本充実で町内にも効果を期待しています。

**問** 新しい内容は、周産期医療センターのみであり、豊岡病院への医師の集約を固定化するのは

**答** 但馬で不足しているハイリスク出産への施設を共同で整備・運営しようとするものです。一町では医師確保は困難です。

**問** 応分の負担とはいくら見込むのか。年間1千万円以内か。いつまでか

**答** 協定内容にある事業の負担金の内、一般財源分が1千万円を上限に5年間支援が受けられます。負担額が1千万円を超えることもありません。6年目以降の負担は一般財源となります。

**問** 農作物被害対策として、銃免許、肉処理などは協定に入れるべき



浜坂道路(新温泉町久谷付近)

**答** 今後、協議する中で変更は可能です。

**問** 共生ビジョンはいつできるのか

**答** 9月末までに策定します。24年度の特別交付税算定に間に合わせるためです。

**問** 道路が西に向け整備されることを考えたか

**答** 道路整備によっても豊岡への流れは変わらないと考えます。協定は新たな振興策と捉えています。

## 反対討論

山本賢司議員

住民への説明がないこと、周産期医療センター整備運営は豊岡病院の事業なのに負担金を出す町と市が協定を結ぶ不合理、構成町でもない組合に負担金を出すことは財政規律に反する。将来に亘り負担を続ける協定である。しかも、人口流出が止まるとも言えないものであり承認できない。

## 賛成討論

小林利明議員

住民合意のなさは議員の責務が問われる。ハイリスク出産への対応として周産期医療センターを共同して整備しようというものであり、豊岡病院への支援ではない。現実的で、ベターな対応であり承認する。

討論

# 災害復旧など8千5百万円を補正



雪で大被害を受ける“梨の木”

### 質疑

問 保育料は325万円引き下げたのに乳幼児医療費には、なぜ所得制限をするのか

答 保育料は国の基準より全体で30%引き下げられています。30%に満たない階層を今回見直しました。医療費の所得制限については世帯主だけの収入では不合理があり世帯合算とした県の方針に添いました。

問 地域子育て支援事業補助金が1グループ5万円から3万円に減額されているが事業に支障がないのか

問 梨の雪害被害に国の補助はあるのに県からの補助はないのか

答 現状を視察していただいており、話し合いは進めています。今の段階では補助はありません。

答 県の援助が打ち切りとなりましたがグループの支援は必要として予算化しました。どうしても不足する場合は個別に対応させて頂きます。

問 梨の雪害被害に国の補助はあるのに県からの補助はないのか

答 現状を視察していただいており、話し合いは進めています。今の段階では補助はありません。

問 県が被告となった都市計画認可取り消し訴訟で、費用がなくても弁護士を使える等の手法とは何か

答 各市町の都市計画決

## 国民健康保険事業特別会計

# 26年度には ゼロに 基金〇に

定は一体不可欠なもの、北但行政事務組合の顧問弁護士の同一事務所内弁護士に依頼したので弁護士費用は要りません。職員の出席旅費は通常旅費で対応しています。

### 反対討論

山本賢司議員  
都市計画法に基づく事業認可取り消し請求裁判で、本町の予算を持たずに北但行政事務組合の予

算で町長の独断で訴訟参加している。財政規律からあり得ない事態の進行と考えるので反対する。

上水道企業会計  
質疑  
問 この議案は議決により減債基金に100万円積み立てるものだが、この基金条例がない。どう運営管理するのか

答 この基金を取り崩す時は予算に計上して議会の議決を経て取り崩します。

### 質疑

問 23年度末の決算余剰金、財政調整基金の残高24年度末の基金残高をいくらと見込むか

答 23年度決算余剰金は3千700万円、基金残高2億3千万円、24年度末は1億7千万円の基金残高を見込んでいます。

問 現状で推移すると26年度には基金はなくなるのどのくらいの基金を保有したいのか

答 1億円は保有したいと思いますが今の段階ではどうするのか考えておりません。

全員賛成で可決

## 平成23年度 一般会計補正

### 財調基金積立目標 ”12億円”を上回る

### 質疑

問 昨年度の特別交付税が4億円以上の増しとなったが、23年度末の各基金残高はいくらか

答 財政調整基金が12億7千600万円、減債基金が1億4千100万円となる予定です。

# 購入契約5件

約4千200万円

可決

## ◆小型動力ポンプ付積載車購入

契約金額 7,791,000円  
契約の相手方 株式会社 吉谷機械製作所

## ◆小型動力ポンプ5台購入

契約金額 7,980,000円  
契約の相手方 株式会社 吉谷機械製作所

## ◆除雪ドーザ購入

契約金額 12,001,500円  
契約の相手方 TCM株式会社 姫路支店

## ◆し尿処理車(4tバキューム車)購入

契約金額 7,050,243円  
契約の相手方 有限会社 田中モータース

## ◆香住小学校新校舎備品購入

契約金額 7,209,720円  
契約の相手方 スタディーK 片村福夫



いよいよ2学期から新しい校舎

### 香住小備品

#### 質疑

問 メーカーを指定して入札しているが学校側の意見、要望は聞いたか  
答 備品を使用する教室の寸法、形状に合わせてメーカーを決めました。学校側の意見は聞いております。

### 小型動力ポンプ

#### 質疑

問 同性能の二機種を購入しているが一機種にした方が安く買えたのでは  
答 使用する村岡、小代の消防団の要望を聞いた結果です。今後は消防団と相談し検討します。



村岡・小代の5分団に配備



長い間ご苦労様でした



香住地域福祉センターは香美町社協へ

村岡母子健康センターは兵庫県社会福祉事業団へ

ハチ北温泉湯治の郷は

ハチ北温泉協同組合へ

◆香美町香住地域福祉センター

指定管理者  
社会福祉法人  
香美町社会福祉協議会

◆香美町村岡母子健康センター

指定管理者  
社会福祉法人  
兵庫県社会福祉事業団

質疑

問 産業施設と福祉施設をどのような考え方で整理しているのか。香寿会のデイサービスなどの利用があるが利用料の発生や徴収はどのようなものか

答 直営か指定管理にするかは法改正の流れの中で直営できる施設以外は指定管理にしています。香寿会の使用料は免除しています。光熱水費の負担はお願いしています。

賛成多数で可決

賛成多数で可決

質疑

◆香美町民間活動等支援交流センター「ハチ北温泉湯治の郷」指定管理者  
ハチ北温泉協同組合

問 湯治の郷の経理が二重になるとの意見がある。行政決算の時期と管理団体の決算の時期が異なる



障害者の作業所「村岡ランチ」で活用



「湯治の郷」 ゆったり過ごしてくださいね

が、経理費用の負担をどう考えるか

全員賛成で可決

問 欠損金は指定管理料で対応しているというが他の施設への対応は  
答 上限は定めています。いくらでもという訳ではありません。

問 町の決算の時期に合わせていただければありがたいです。

人事

人権擁護委員

次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。  
任期は平成24年10月1日から3年間です。



香住区下岡17番地の3  
やまもと ちなえ  
山本千奈恵さん



小代区大谷565番地  
おおた がき おさむ  
太田垣修さん

# 《不採択》

## 縁故地使用料の見直しについて

請願者 射添地区区長会

代表 諏訪 宏栄

紹介議員 西坂 秀美

岸本 正人

### 請願の趣旨

縁故地の使用料の免除を希望したい。

### 理由

管理する村は人口の減少と高齢化による使用料負担に耐えられません。各区共通の課題と考えます。

### 総務民生常任委員長報告

紹介議員及び参考人の趣旨説明を求めた後、委員の意見・討論を行う。

町税の根幹をなすもので、請願の趣旨のような一部地域のみ免除にはならない等の反対討論があり不採択とする。

### 委員長に対する質疑

問 19年12月議会の小代区の縁故地ルール変更があつたが、負担の重さ、負担の形態などから継続審査はないのか  
答 使用料免除が趣旨と考え不採択としたが、大事な問題。委員会として継続して調査する。

### 賛成討論

岸本 正人 議員

経済林としてはほぼ0円。今後は集落の責任ではなく、町土の保全、環境や景観の保全の観点から各区共通の問題とするべきである。

## 少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する請願

請願者 兵庫県教職員組合美方支部

支部長 山本 和正

紹介議員 田野 哲夫

産業建設文教常任委員会に付託され、全員賛成で採択、本会議で採択され意見書を国へ提出しました。

### 請願及び意見書の趣旨

少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は30人以下学級とすること。
2. 義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に復元すること。

# 意見書

## 国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書

国保は「社会保障及び国民保健の向上に寄与すること」(国保法第1条)を目的とする制度である。国保を将来にわたり持続可能な制度とするため、国の更なる財政基盤の拡充・強化を図り、実効ある措置を講じること。

全員賛成で可決。国へ提出しました。

### 賛成討論

森 利秋 議員

国保負担の増大に対し、国庫負担が不可欠。国の財源である消費税など適正財源の確保に目途が立つと考える。

## 県立医療機関の適正配置を求める意見書

1. 県立病院等医療機関の適正な配置に努めること
2. 県立こども病院の移転計画については、兵庫県医師会の意見を慎重に聞き取り、計画について再考されること

賛成多数で可決。兵庫県知事に提出しました。

### 反対討論

森 利秋 議員

同様の趣旨の請願は兵庫県議会でも不採択となる。県立こども病院は40年を経た老朽化が進んでいる。ポートアイランド移転計画が決定されていること。津波の想定3.6メートルなど地震対策が行われており、他の病院もあるが、一極集中とも言えないと考える。

# 町政を問う

6月定例会での一般質問は、6月6日と7日に14名の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



住民対応は的確敏速に

①4月1日、課制に移行本庁各課と地域局の分掌事務を明確にして住民へ



岡田 公男 議員

## 震災がれき処理受け入れ決定要件は安全なものが第一条件です

の行政事務・対応は的確敏速に行なわれているのか②国の方針により兵庫県は県下各市町に震災がれき処理受け入れを求めている。香美町の対応はどう考えているか。処理受け入れ決定の要件、基準は何か。その根拠、安全基準の判断は何か③小

中学校の連携、児童・生徒の交流機会を町独自の教育課程に組み入れられないか  
町長 ①副町長を中心に政策調整会議で業務調整を行なっております。業務も互いに協力して住民サービスを低下させな

いようにしています。②国の基準より厳しい基準で安全なものが第一条件です。県の方向性、最終処分場、どういう方法で搬入か定まっています。町全体、地元との理解を得なければなりません。  
教育長 ③現在小学校間の連携を行なっております。本町独自の事業と県の事業をあわせて推進したいと考えております。



町道森道路を庁舎前に接続だ



寺川 秀志 議員

現在、福祉村から庁舎に向かう町道の整備状況は、香住道路の高架下で止まっており、庁舎前の道路に接続していない。近年福祉村、しいの木荘、香住浄化センター等

の公共施設を利用する車両が多くなり関係区、関係団体も道路整備の必要性を強く希望している。その対策として高架下以北を新設改良することで、通行混雑を緩和し、施設を利用する町民の安全が図れ、災害時の避難道路としても期待できる

査中です。南北に接続することで、大きな投資効果があるのか事業をするには検討が必要になります。本年度から避難道路の計画をしていますので、緊急時の避難道路として有効ではないかと判断しています。また消防車、救急車等の出入りの利便性を高める効果はありますので、道路の必要性は感じており、検討したいと思えます。

## 町道森道路を避難道として整備を必要性は感じているので検討したい





村岡幼稚園での給食

私は、給食を教育の一環として非常に大事なものと感じていて。近年、食育という言葉が盛んに使われるが、子供の健康・栄養のバランス・知能の発育・情緒の安定等を



上田 勝幸 議員

そういって観点から、一日も早く香住区の幼稚園でも、給食を導入して頂きたい。それが子を持つ親の願いだ

【教育長】給食は教育の大事な部分と考えています。従来から、香住区の幼稚園でも給食をとっている話もありましたが、香住幼稚園に給食配達車が入りにくい、雨の日など衛生面のことが心配される等、色々なことがあり実現できずしていましたが、幼稚園が香住小学校の隣に移転する来年9月には導入したいと考えています。

## 香住区の幼稚園でも給食を 来年度より香住区でも実施します

考えると、食事を通しての教育は必要にして不可欠なものだ。

地元産の魚・肉・野菜など旬のものを食べてもらう。それで研ぎ澄まされた感性が育ち、ふるさとに愛着を覚える子供が増える。



穴の開いたホースで消火するの？



西川 誠一 議員

## 消防団のホースの更新は充分か 現状を把握して予算組みします

地域防災計画がまもなく策定されるようだが、現在の進捗状況はどうな

っているのか。災害が発生した時には消防団と各区の自主防災組織との役割分担は明確に規定され、周知されているのか。また消防団が管理する消火栓器具箱内のホースおよび筒先の更新を町に要望しても配給本数が少

ないと聞くが、初期消火に影響がおよぶ可能性がある。安全・安心な町を目指す町の姿勢を問う

併せて、消防団と自主防災組織の防災体制にも課題がありましたので、全町統一したマニュアルをつくらせていきたいと思っています。現在、町内には消火栓が約1千カ所あります。器具箱内にあるホースや筒先などの管理ができていないのもあるかと思えますので、実態調査をし整備を進めます。



わがまちの宝



行政はタイムリーな支援を

## 香住、村岡両高校を盛り立てる気運の醸成を 子どもたちと町の将来の観点で取り組む



小林 利明 議員

町の宝・県立高等学校  
二校の存続と発展の観点  
から伺う。

香住、村岡両校の誘致の歴史や存続価値をどのように認識しているか。また、生徒の諸活動の広報や激励行動等、具体的に町長、教育長が率先して取り組み、町ぐるみで両校を盛り立てる気運を醸成する考えはないか

**町長** 戦後の厳しい中で時の人たちが頑張つて誘致された学校であり、その思いを守るのは我々の役目だと思います。両校のイベント参加や花づくり、鮎の放流等、地域に向いてのボランティア活動には地元は勿論、行政も加わって積極

的に応援をしたいと思えます。

**教育長** 子供たちと町の将来の方向づけに係る学校であり、両高校のビジョンや思いを伺いながら連携して取り組みたいと考えています。

## 町のホームページで商店の応援を 検討したいと思います



植田 隆博 議員

町内の商店がイベントを開催する際それを広報するのにチラシ等でされているが町のホームページにそれらを告知できるサイトを作りそこで案内できるようにできないか。

町長はいつも産業発展のため町は出来るだけの支援協力をするとおっしゃっている。のぼり旗を配るのも良いがそれより町内のお店のイベント情報を告知するほうが良いと思う、どのように考えるか

しかし有料広告との整合性を整理する必要があります。簡易な情報の発信を再度各課の方で検討してそれが活性化につながるのであれば検討したいと思います。

**町長** 有料広告を企業からいただいていますので難しさがありません。タイムリーな情報発信という部分は重要と考えます。





家計は苦しくなる一方

国保世帯の平均所得は、平成20年度で104万9千円が、平成24年度で84



山本 賢司 議員

## 国保税減税財源を一般会計から 国基準以上は不公平になる

万7千円と21%も減っている。農業所得は平成20年度からマイナスだ。町の財政調整基金は13億円、建設事業財源としての地域振興基金は11億円、今、過疎債は町単独のソフト事業にも使えるように改められた。町財政が厳しい、と言

**町長** 国保は社会保障だが、運営は相互扶助の精神でやっています。

うが、貯め込むばかりで、町民の家計の苦しさが増していることに目を向けるべきであり、国保税の減税財源を一般会計から繰り入れるべきだ

基金は、12億円を確保し、超える分は産業振興等に振り向けます。

一般会計からの国保への繰り出しは、国の基準に従って、保険基盤安定・事務費及び出産育児一時金・保健事業に係る経費を行なっており、それ以外の繰り出しはできないこととされています。



放射能測定器は必需品



西坂 秀美 議員

## 放射能測定器を購入せよ ゴミ受け入れなら購入します

東日本大震災のごみ処理が一向に進まない。県内各市町も検討中である。運搬、保管、業者、焼却で発生する灰の処理飛散灰等、放射性物質の安全性の確認が必要

**町長** 受け入れる基準値は食品の安全の数値の範囲内のもので危険でな

だからである。本町で受け入れるなら住民の不安を払拭しなければならぬ。放射能の数値を我が町で住民を交えて測定することが重要だ。測定器を購入し到着時に数値の測定をして安全性を確認しなければ住民は納得しない

いと考えています。最終焼却灰は県で責任を持って処理していただくことが条件です。受け入れをするなら測定器を購入して到着時点で測定し、安全の範囲内であるもののみを受け入れることを町民の皆さんに周知します。県の方向性が示されたら地元の皆様は状況を説明して理解を求めたいと思っております。



肺炎で亡くなる高齢者を少なくできます



老人ホームを増やせ

## 特別養護老人ホームを増やせ!! 要望があれば積極的に受入れます



森 利秋 議員

04世帯と右肩上に増えている。こうした状況の中で平成24年度から26年度までの第5期介護保険事業計画の中には町内での特養の増床は計画されていません。これは何故か。町内に多くの需要があり、町民の皆様から多くの要望がある。特養を増やす必要があるが町長の所見を問う

町長 第5期の計画の中で、特別養護老人ホームの整備計画は、本年1月に新温泉町で新たに増床されたことや、町内事業者での増床計画の動きがなく、増床は計画しておりませんが、待機者が多くおられる中で町内に施設があるのが理想です。町内外を問わず施設をつくって頂けるなら積極的に受入れをさせて頂きま

香美町民で町外の特別養護老人ホーム(特養)に入所されている方は約70名、入所待機者は約200名ある。更に高齢者の単独世帯数は753世帯、高齢者夫婦世帯は9

町長 第5期の計画の

## 高齢者の肺炎球菌予防接種の助成を 国の動向を見て対応します



谷口 眞治 議員

全国の高齢者の死亡原因のうち肺炎は、第4位である。この肺炎の多く

は肺炎球菌が原因であり、高齢者の肺炎予防策として肺炎球菌の予防接種が大変効果があるといわれている。

肺炎球菌の予防接種費用はどの程度か。県下自治体の助成状況は、香美町でも高齢者の肺炎球菌予防接種の助成を

取り組む考えはないか。町長の所見を問う

町長 香美町で肺炎が原因でなくなる高齢者は、国と同様の第4位で、年間二十数名です。そのうちの約1割が肺炎球菌で亡くなっています。予防接種費用は約8千

円です。県下の助成の状況は、全額助成が4市町で、半額の助成が11市町です。但馬では、朝来市が全額助成、養父市が半額助成です。香美町が全額助成する場合約4千300万円かかりますので、国の動向を見ながら対応したいと考えています。





香美町ブランド制度導入を

香美町で生産・加工される農産物・水産加工品・食品・食品加工品等に、町としての地域ブランド制度を創設すべきと考える。町で産出される商品に、一定の基準以上であ



岸本 正人 議員

れば認定して、例えばシングルで認証するというような制度をつくって、香美町産の商品に付加価値をつけるべきだ。認定商品は町で推進する。町のホームページで発表するというような制度の創設を検討すべきである

**町長** 岸本議員には香美町ブランド制度について何度かご意見をいただいたところです。自慢す

る特産物は多くありますが、町として売り出すには、そういう制度も必要かと思えます。どういった基準を設けるか難しさがありますが、今後、関係者の皆さんと協議し、自慢する香美町のブランドを認証付け、販売においてPRできるように、農林水産課で今後取り組みを検討させていただきます。

## 香美町認定ブランド制度の創設を!! 認定制度を検討します



おばちゃんの“ハイタッチ” いい顔してます (残酷マラソン)

改革の1番、財政再建は貯金12億円達成も、町民に負担を強いてきた。



田野 哲夫 議員

## 各地域局に活性化資金を委ねると言えないか 地域で知恵と協力を、町は側面支援します

雇用の拡大と改革が相反してはいけない。起業、また企業の新規事業発起の対策は何か。六次産業化に200万円だけ？ 村岡、小代区民の期待を裏切っていないのか。

(例)3つの観光協会が切磋琢磨する意欲を見ない。(例)ごみ処理のからくり

に気付かず、勉強しないでは。(例)「小代地域局長、2億円預ける。地域対策やれ。」くらいの事は言えないか

**町長** (旧町時代)厳しい財政の中、施設を作り維持管理が大変で合併、限られた財政の中で負担

確かに、10年で職員90人減らし地域局配置も十分ではないが、地域の方が知恵を出して協力頂き、それを側面から支援することで進めて行きます。

を強いてきたが、産業振興活性化につながる予算を組んでいます。雇用対策が芽生えてこない難しさです。六次産業の知恵も出して頂きたいと思えます。



「さる」の心配はいつまで？

## 住民と猿とのすみ分けはどうする やっつけていかなくてもならぬ



吉田 増夫 議員

猿の対策については、農作物の被害防止のみならず、住民の安全、安心

を含め捕獲駆除を行っており、頭数は減ったものの知能は良くなった。住民は猿被害の心配のない生活を一日も早くと望んでいる。将来、猿とのすみ分けをどのようにしていく計画なのか

町長 町も捕獲をしており、悪質な猿については、県の方で麻酔による捕獲も行っていただき、現在猿の頭数も減っているようです。捕獲等、県と協議をしながら進めてきていますが、ある程度の猿を保存しながら、すみ分けができるか、今後

とも協議しながら進めていきたいと考えています。住民の皆さんのことを考えると、やっつけていかなくてもならぬことでもあります。

## 蘇武トンネルに定期バスの運行を バス運行を検討します



西村 伸一 議員

国道482号の蘇武トンネルが開通して数年経過をしている。私の感ずる現状では、以前は八鹿であったが、今は豊岡市が村岡区の皆さんの経済圏内と思う。また豊岡市

からも交流人口が多くなって来ている。自動車の免許を持っていない人達は、蘇武トンネルに定期バスを強く思っている。バスの運行について、これまで議題が上がったのか、また内部で検討されたのか、その結果はどうなったのかを問う

うな中で香美町地域公共交通会議があります。このような要望が上がっていないということですが、町と豊岡市とに関係する事ですので、その辺の理解も必要だと思います。本当にどの位の方々かバスの運行を望んでいるのか、区長さん方を通じて調査したいと思っています。

町長 平成15年11月にトンネルができ、供用開始となりました。このよ



このトンネルをバスで通り抜きたいね



## その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目	質問議員	質問項目
寺川 秀志	1. (仮)医学生入学時一時資金貸付制度について 2. 公衆トイレの管理について	山本 賢司	1. 村岡学校給食センターは、村岡B&G跡地へ 2. 木材利用計画を早期につくれ！
西川 誠一	1. 香美町特産品の活用について 2. 食育は町独自の施策で普及啓発を	森 利 秋	1. 介護予防事業について問う
		谷口 眞治	1. 北但ごみ処理施設について問う
小林 利明	1. 希望を持てる町づくり推進のための活力ある行政組織について	田野 哲夫	1. 一般廃棄物処理基本計画の状況について 2. 学校給食センターの建設について
植田 隆博	1. 防災対策について問う 2. ジオパークの関連について問う	岸本 正人	1. 空き家対策の条例化ができないか 2. 町道の認定について
西坂 秀美	1. 特別交付税を町政にどう生かすか	西村 伸一	1. 畜産振興策を問う

## 議案の審議結果

※全員が賛成の議案は、表示していません。

議案名		議員名																
		小林利明	谷口眞治	田野哲夫	岡田公男	植田隆博	上田勝幸	西坂秀美	森利秋	浜上勇人	吉田増夫	西村伸一	山本賢司	岸本正人	西川誠一	寺川秀志	吉田範明	
6月定例会	議案第94号	専決処分をしたものにつき承認を求め ることについて（香美町税条例の一部 を改正する条例）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	議案第104号	香美町香住地域福祉センターの指定管 理者の指定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第105号	香美町村岡母子健康センターの指定管 理者の指定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第111号	香美町議会の議決に付すべき事件に関 する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	議案第113号	平成24年度香美町一般会計補正予算 (第2号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	議案第124号	香住小学校新校舎備品の購入契約を締 結することについて	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第125号	定住自立圏の形成に関する協定を締結 することについて	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	請願第1号	縁故地使用料の見直しについて	×	退	○	×	×	×	○	×	×	×	×	退	○	×	×	○
	意見書第4号	県立医療機関の適正配置を求める意見 書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○

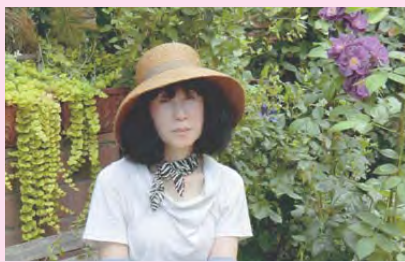
○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席(採決の際に議場から退席し採決に加わらなかったことです。)

※議長は採決に加わりませんので—で表示しています。

# いほ人いほあつこ

(香住区)

今回は、香住区訓谷でガーデニングを通して地域の活性化に頑張っておられる太田よしのさんへ話を伺いました。



太田よしのさん

**いつ頃から訓谷にお住まいになりましたか**  
生まれ育ったのは愛知県ですが、結婚してから主人の転勤に伴い、関西、関東、北陸等々へ7回の引っ越しを経て、やっと11年前に主人のふる里である香美町に落ち着きました。

**ご主人の関係でいろいろ転動をされていましたが、どのように感じて日々暮らされていましたか**

元々母が花が好きだったこともあり、私も行く先々で花作りをしながら、人との出会いを頂き、知らない土地でも寂しい思いはしませんでした。

**香美町にお住まいになってからはどのような活動をされていますか**

香美町に落ち着いてからは、「ふれあい交流館」の園芸講座の担当、各会の寄せ植え指導等を行っています。

ほかに花の推進委員として花づくりの方々と交流して来ました。その間には、県のガーデンショーで、毎日新聞社賞を始め各賞を頂きました。

**訓谷に居住されましたが、香美町をどのように感じておられますか**

山・海の自然なものが美味しいです。文化的にも楽しんでおられますし、有望な伝承文化に造詣が深いと思います。

また、人情があつて助け合つておられます。隣保があつて繋がりが深いですが、都会から帰つて来たものとしては助かりますが、戸惑うこともあります。



ふれあい交流館での園芸講座



自宅前でのガーデニング

**現在の訓谷での活動を教えてください**

現在は、訓谷の5つのグループ25軒の世話人として、年2回各家2鉢ずつの季節の花の購入・配布を行つて、各家の前の道路側においてフラワーロードとしての景観園芸に務めています。また、観光の地でもありますので、民宿の女将さんや、見学に来て頂いたお客さん達に喜んで頂いています。

**これからの地域づくりのためにガーデニングをどのように活かされますか**

今後もオーブンガーデンを通して、広く、多くの人々と出会い花づくりの大切さを話し合いながら交流を深めていきたいです。

他には県のガーデニングマスター、ハンギングバスケットマスターとして日々植物と会話しながら活動して行きます。

**今、どのようなことを目指しておられますか**

私の目指しているのは、決して無理をせず、老若男女誰でも楽しんでできる花づくりです。

今は点でしかないものでも楽しんで長く続けられたら、やがて、線となり、面となつて地区全体に広がっていくものと思つています。

**議会、行政に何か意見がありましたら**

若い人が安心して働けるような、まちづくりをお願いします。

## 編集後記

エコ、省エネ、節電と近年呪文のように唱えられている。そのこと自体は高度経済成長下で育つた我々が忘れていた物の大切さや電気のありがたみを再認識するうえで重要なことであると思う。

昨年度の特別交付税の支給額が4億円以上もの上増して香美町の財政も貯蓄にまわすという非常にうれしい結果となつた。はたして、財政もエコ、儉約が最良なのだろうか。健全化という名のもとに使うことを恐れ、お金がないから何もできないと言ひ逃れるのはいささか現状把握ができていないように思える。

しっかりと議論をし、使うべき事にはしっかりと使う勇気も必要であると感じる日々である。

編集発行責任者

議長 吉田 範明

議会広報特別委員会

委員長 田野 哲夫

副委員長 植田 隆博

委員 西坂 秀美

委員 浜上 勇人

委員 山本 賢司

委員 西川 誠一

委員 寺川 秀志

(S)